

根子岳山スキー・車山ゲレンデスキー報告

【山城】根子岳（東信）、霧ヶ峰車山（中信）

【日程】2018年1月27日（土）～28日（日）

【メンバー】CL 菊池・滝本・加藤・井上（里）・井上（志）・池田（元会員）・瀧瀬（船山）

【行程と天気】

27日：曇り・ガスで視界不良 駐車場到着時 -13～-14℃

千葉一菅平奥ダボス駐車場ーリフトトッパーシール登行ー避難小屋（休憩）ー山頂下（標高約2150m平坦地）休憩ー滑走ーリフトトッパー駐車場ー車山（コロモデゲストハウス泊） 大木さんのみゲレンデスキー、他7名は山スキー

28日：晴れ

宿ー車山スキー場：ゲレンデ滑走（大木・井上里はスノーシューハイク）ー縄文の湯ー帰葉



- ・例年、1月中旬～下旬に実施する初級者向け根子岳山スキーツアー、一昨年は雪不足で笹が埋まってなく苦勞、昨年は悪天で中止、今年は関東にも大雪をもたらした降雪で菅平の積雪も110cmとなりツアー適期に入ってきており、冬型が緩み始めた27日に実

施した。

- 数年に一度の超低温が続いており、奥ダボス駐車場到着時は -13°C ほどであった。風はそれほど強くなく、雪も止んでいたが、ガスで視界不良、やや厳しい状況である。リフトを一本乗りスキー場トップに到着、船山のTさんは山スキーデビューである。メンバーにシールの手際よい貼り方を解説、気合を入れてスタートした。

スキー客相手のスノーキャットが避難小屋まで入っており、圧雪された緩斜面コースを小屋に向かって進む。



7人メンバーで5人は根子岳経験者、いつものように避難小屋で行動食休憩。避難小屋から上部はやや傾斜が増す。先行者のトレースを辿りハイクアップ。



新雪は30~40 cmのフワフワパウダーである。低温のため緩斜面でも快適なパウダーランが期待できそうだ。天気好转を期待したが、標高が上がるに従い視界不良でやや風が強くなって手がジンジンする。上部から滑走して来るスキーヤーが2~3名。単独の女性登山者は視界不良



の中「標識を辿って降りればよいのですかね？」と不安そうに聞いてきたので、「そうですよ」とアドバイス。上部は風のためシュカブラや吹き溜まりなど不安定な雪面が多く、先行者のトレースもはっきりしないところが多かった。厳しい気象条件に辛い登りが続き、ゆっくりペースで頑張るように声を掛けながらリードし。厳しい気象条件に辛い登りが続き、ゆっくりペースで頑張るように声を掛けながらリードした。この寒さと視界不良では、登頂は断念。次第にシラビソのモンスターがボーッと現れるようになり、最後の頑張りである。



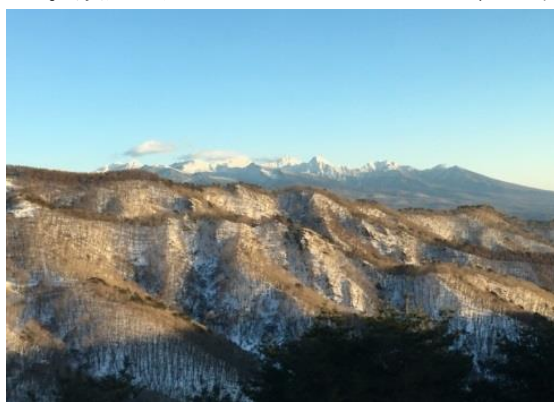
- ・ 山頂まで標高差 30m程の平坦地で風が避けられるモンスターの脇で休憩、ここからか滑走することとした。滑走前の気合を入れての記念撮影である。視界不良ではあるが、条件が許せば快適なパウダーランを狙って、登山道ルート of 南側を西に向かって滑走する・ 牧場→ゴルフ場→奥ダボス駐車場へのパウダールートを選択した。エントリーポイントは視界不良ではあるがこんな感じで何とかパウダーランできるかと思わせた。しかし視界不良状態はさらに悪化、雪面も風でパックされた部分もあり、シュカブラや吹き溜まりで極めて不安定である。やむなく登山道ルートにトラバースしながら戻ることとした。



登山道ルートは初め視界不良・シュカブラなどなどで安定せず慎重にゆっくり滑走したが、酔っ払い状態が出現し始め難儀した。高度が下がってくると視界がやや良好となり、パウダーランが楽しめるようになった。特に避難小屋直前の中斜面は素晴らしいパウダーランに何とか唯一、雄叫びランを披露した。

- ・ 好天であると、標高が高いため緩斜面でも素晴らしいパウダーランが初級者でも楽しみ

る山スキー入門ルートであるが、今回は厳しい気象条件で、山スキー初挑戦の船山のTさんは「死ぬのではないかと」極端に表現した。頻りに訪れているルートのため、気象条件に見合った安全で楽しめるルートを選択したため、パウダーランも楽しめ、それなりの収穫ある初級者向けツアーであったと思われる。14時に駐車場に帰還、宿の車山・コロモデゲストハウスに向かった。2日目に条件が良ければ蓼科山の山スキーを考えていたため、白樺国際スキー場駐車場まで遠回りして状況偵察に行ってみたが、積雪不足で無理と判断した。2時間半ほどのドライブで、車山直前から見た八ヶ岳で



す。



・コロモデゲストハウスは美味しいフランス料理とワインが楽しめる素晴らしい宿です。このところナイスエッジのイベントやわが家の親族も利用させていただき益々ファンになっています。今回はスキー仲間8名で宿泊、夕食後の記念撮影です。

- ・2日目の朝です。ゲストハウスの外はこんな環境で、BCクロカンで楽しんだトレースがあります。朝食前にピアノのあるリラックスルームで寛ぎました。



夕食に引き続き楽しい朝食タイムです。

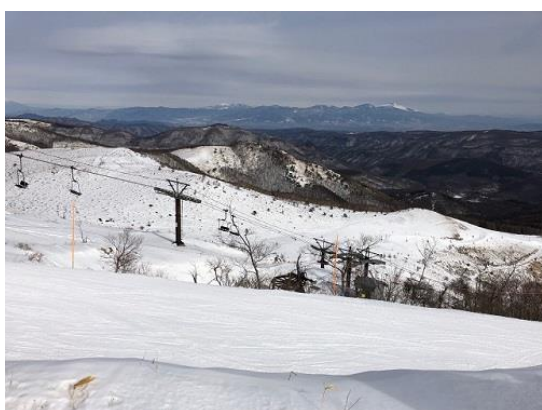
- ・2日目は条件が良ければ、精鋭組が蓼科山山スキーに挑戦を考えていましたが、積雪不足で断念。車山でのゲレンデスキーとスノーシューハイクを楽しみました。小生、今日はアルペンで、メンバーにワンポイントアドバイスしながらの久しぶりの車山ゲレンデ

スキーです。30年以上前に度々日帰り家族スキーを楽しんだ思い出のスキー場です。



35度を超す急斜面は相変わらず固いバーンで、ナイスエッジの長男とよく練習したバーンを今日はメンバーにスピードコントロールした滑り方を伝授しました。家族スキーで来ていたスキーバブルの頃に比べると空いていますが、まあまあの客入りで家族連れが多いですね。当時と比べゲレンデは拡充されました。

14時に2日間の行動が終了しレストハウスに集合、縄文の湯で入浴（駐車場で蓼科山登山が終了した内堀Pにお会いした）、中央高速・首都高とも全く渋滞がなく、得をしたような気分で早めに帰宅できた。



- ・翌日の1月29日は小生69才の誕生日でした。寒中に新潟で生まれた小生はこの年になっても山スキーに没頭している。この日は前日までの低温週間から少し解放され、日中の気温が9℃くらいになり、わが家の庭には立春前に「ヒメリュウキンカ」が咲き始めた。昨年久しぶりに富士山登頂山スキーを成功させたが、なんとわが会最高齢者の尊敬すべきTさんを、彼が69才の時（10年前）に富士山登頂山スキーを成功させた思い出が蘇る。いまだ熱い思いで山スキー現役のTさんに負けてはいるが、年齢的に

は小生は 70 歳までは富士山登頂山スキーを成功させねばならない。ハードルは高いがトレーニングに精進したい。

- 立春間近であり、隣の家のはな紅梅の花も綺麗である。春の花が待ち遠しい。反面、まだまだパウダーランを楽しんでいたい。昨年に続きチーム福島の北海道遠征（三段山周辺）に参加し 2 月 5 日からフェリーで行って



る。山スキーは掛け値なく素晴らしい！！ 山スキーを通じて人と人とも交流もでき、今後も山スキー仲間を大事にしていきたい。